

出張型相談事業【仙台市】

総事業費	1,166 千円
交付金額	875 千円

地域の実情と課題

- ・女性は、様々な年代で貧困などの生活上の困難に陥りやすい状況にある。
- ・生理用品など生活するうえで必須な物品の入手が難しい女性の存在も報道などで指摘されている。
- ・敷居の高さを感じるなどの理由で相談窓口につながることでできない女性も一定数存在すると思われる。

事業の特徴

小物作り体験などを合わせて実施し、参加へのハードルを下げた。

事業の効果

相談につながることでできない女性の現状の一部を顕在化できた。支援団体間の今後の連携に向けた関係づくりの場ともなった。

目的・目標

既存の相談機関につなげられない女性が気軽に相談できる環境を提供する。
【数値目標】来場者数 延べ150人
【達成状況】延べ261人

- ### 連携団体
- ① 公益財団法人せんだい男女共同参画財団
 - ② 市内の女性支援団体

今後の課題

広報の工夫、相談者のその後の相談行動について情報共有できる方策の検討

●出張型相談事業「女子のためのほっとスペース」

1 開催概要

コロナ禍等により困難な状況にある女性が支援者・支援機関とつながり、情報を得て選択肢を広げ、自己決定に向けた歩みを進めることを支援するため、民間支援団体との連携による出張型相談会を実施した。参加へのハードルを下げ、安心して過ごせる場とするため、小物づくりなどのお楽しみコーナーやキッズコーナーを設置した。

また、生理用品や協賛企業からの生活用品などの配布(数量限定)を合わせて実施した。

日時: ①令和4年8月31日 17:00～21:00 ②令和4年10月17日 10:30～14:30

③令和4年12月10日 13:00～17:00

来場者数: 延べ261人

主催: 仙台市、(公財)せんだい男女共同参画財団

協力団体: NPO法人キミトナリ、女性のためのとまり木・リカバリートレーニングセンター「しおり」、NPO法人STORIA、仙台青葉学院短期

協力者 大学、NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク、託児サークル エル☆キッズ、NPO法人チャイルドラインみやぎ、(一社)パーソナルサポートセンター、NPO法人ハーティ仙台、仙台市精神保健福祉総合センター はあとぼーと仙台、NPO法人Fine、NPO法人ほっぷすてっぷ、NPO法人MIYAGI子どもネットワーク、NPO法人ワーカーズコープ、本郷清子(キャリアコンサルタント)、エル・ソーラ仙台 相談支援係、仙台市母子家庭相談支援センター、イトウユウコ(手芸布物作家)、資生堂ジャパン株式会社、nanairo Atelier(なないろアトリエ)、花山美佐代((一社)タッピングタッチ協会認定インストラクター)、マートル

協賛: 株式会社グッドツリー、資生堂ジャパン株式会社、世界文化社販売株式会社、全国農業協同組合連合会宮城県本部、株式会社セント、ネットヨタ仙台株式会社、ハリウコミュニケーションズ株式会社、法テラス宮城、みやぎ生活協同組合、宮城第一信用金庫



会場の様子

2 事業効果及び効果検証

相談者の話を聞きながらもやもやを整理し、絡まり合った困難な状況を紐解き、その解決に向けて相談機関につなぐ機会となっており、相談につながる事が出来ていない女性における相談前のステップとして有効であった。また、心のもやもやを抱えながら相談につながる事ができない女性の現状の一部も顕在化することができた。

加えて、複数の支援団体が合同で取り組むことで顔の見える関係をつくる事ができたことから、その後の支援活動の連携につながるきっかけづくりともなっている。

